

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) **公開特許公報 (A)**

(11)特許出願公開番号
特開2003-70408
(P2003-70408A)

(43)公開日 平成15年3月11日(2003.3.11)

(51) Int.Cl.⁷
A 0 1 M 23/24

識別記号

F I
A O 1 M 23/24

テーマート* (参考)
2B121

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 4 頁)

(21)出願番号 特願2001-316080(P2001-316080)

(22)出願日 平成13年9月5日(2001.9.5)

(71)出願人 000203140

村上 英昭

静岡県浜松市小池町724-3

(72) 発明者 村上 英昭

静岡県浜松市小池町724番地の3

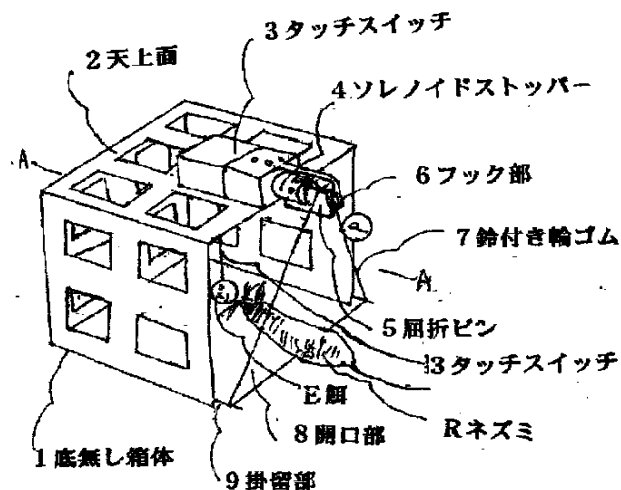
Fターム(参考) 2B121 AA03 BA12 BA36 BA41 BA58
DA55 EA01 FA13

(54) 【発明の名称】 ネズミ駆逐器

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】通気良く、誘引餌の臭いを発散し、先のネズミの残臭が無い自然体の餌付け箱に強力誘引餌を取りにきた一匹の偵察クマネズミの首又は胴体に鈴付き輪ゴムを付けて、群棲するクマミズミに対し、群れ中の、一匹の鈴の厭音を発するネズミで、一族の群れと他群れ諸共に駆逐排除させるネズミ駆逐器を提供する。

【解決手段】底面無し箱体を同床上に置きイ、天井面２に回転フックと支点付きストッパー・鈴付き輪ゴムの組合せとロ、タッチスイッチ３とソレノイドストッパー４に屈折ピン５を接続し鈴付き輪ゴムとの組合せで、イ、は回転フックに支点付きストッパーの一端を鈴付き輪ゴムの引張力でフックし、回転フックの微動でフックが解けるロ、はタッチセンサーとソレノイドストッパーを電氣的接続し、通電で屈折ピンのフックが屈折して解けていづれも鈴付き輪ゴムが収縮してネズミに帯着する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】底面無し箱体とし、天井面の端縁に支点付きストップバーを設け、該天井面の一部分に支点付き餌取り付け棒を設け、該支点付き餌取り付け棒の上端に回転体フックを設け下端に餌付け部を設け、上記回転体フックに上記支点付きストップバーの一端をフックし、上記支点付きストップバーの他端に発音具付き輪ゴムの一部を引張して掛け留めし、上記支点付き餌取り付け棒の作動で上記フックが外れ、上記発音具付き輪ゴムが上記支点付きストップバーの他端から外れると共に、上記底無し箱体の側面の一面に開口部を設け、該開口部の前面下部周縁に掛留部を設け、該掛留部から上記発音具付き輪ゴムの他部も同時に外れて収縮してネズミに帯着することを特徴とするネズミ駆逐器。

【請求項2】底面無し箱体とし、天井面にタッチスイッチとソレノイドストッパーを設け、上記タッチスイッチと上記ソレノイドストッパーを電氣的接続し、上記ソレノイドストッパーに屈折ピンを接続し、上記屈折ピンを掛け留めするフック部を設け、上記屈折ピンに発音具付き輪ゴムの一部分を引張して引っ掛けて、上記フック部に上記屈折ピンをフックし、上記タッチスイッチの作動で上記ソレノイドストッパーが励磁されて吸引作動し、上記フック部から上記屈折ピンが外れ上記発音具付き輪ゴムが外れると共に、上記底無し箱体の側面の一面に開口部を設け、該開口部の前面下部周縁に掛留部を設け、該掛留部から上記発音具付き輪ゴムの他部も同時に外れて収縮してネズミに帯着し、電源を有することを特徴とする請求項1記載のネズミ駆逐器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、ネズミ駆逐器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のネズミに鈴を取り付けて駆逐する器具は底付きのBOX形状で、支点付きストップバーの作動が引っ張りスライド方式であった。

【0003】

【発明が解決するための課題】上記の発音具の取り付け器具は、床付きのBOX形状、支点付きストップバーの作動が引っ張りスライド作用などは、誘い餌が不自然に置かれ先のネズミの臭が残る後のネズミが寄り付かず、支点付きストップバーの作動がネズミの俊敏な動きに遅れて確実にネズミに鈴を取り付けることが出来ない、特にクマネズミに対しては学習されて二度と取り付けが不可能となり、使うのに困ることが多い。その場所の床上に通気良く強力に誘引する餌で同床に餌付できる底無し箱体に支点付き餌取り付け棒の上部を回転体のフックとし、これの回転作動で支点付きストップバーが瞬時にフックから外れ、簡潔な構造で俊敏に発音具付き輪ゴムが支点付きストップバーより外れて収縮してクマネズミに

帯着するようにしたし、上記の動作を更に精度を高める為に、簡潔構造で俊敏的確な電子作動構成として確実な取り付けが実行される器具とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】イ、底面無し箱体とし、天井面の端縁に支点付きストップバーを設け、該天井面の一部分に支点付き餌取り付け棒を設け、該支点付き餌取り付け棒の上端に回転体フックを設け下端に餌付け部を設け、上記回転体フックに上記支点付きストップバーの一端をフックし、上記支点付きストップバーの他端に発音具付き輪ゴムの一部を引張して掛け留めし、上記支点付き餌取り付け棒の作動で上記フックが外れ上記発音具付き輪ゴムが上記支点付きストップバーの他端から外れると共に、上記底無し箱体の側面の一面に開口部を設け、該開口部の前面下部周縁に掛留部を設け、該掛留部から上記発音具付き輪ゴムの他部も同時に外れて収縮してネズミに帯着するようにしたものである。

ロ、底面無し箱体とし、天井面にタッチスイッチとソレノイドストッパーを設け上記タッチスイッチと上記ソレノイドストッパーを電氣的接続し、上記ソレノイドストッパーに屈折ピンを接続し、上記屈折ピンを掛け留めするフック部を設け、上記屈折ピンに発音具付き輪ゴムの一部分を引張して引っ掛けて、上記フック部に上記屈折ピンをフックし、上記タッチスイッチの作動で上記ソレノイドストッパーが励磁されて吸引作動し、上記フック部から上記屈折ピンが外れ上記発音具付き輪ゴムが外れると共に、上記底無し箱体の側面の一面に開口部を設け、該開口部の前面下部周縁に掛留部を設け、該掛留部から上記発音具付き輪ゴムの他部も同時に外れて収縮してネズミに帯着し、電源を有するようにした。

【0005】

【作用】通気良く、ネズミが好み特にクマネズミの好物誘引餌の臭いを発散し、その場所の同床でネズミに異和感を与えない底無し箱体を置き、箱内部にある支点付き餌取り付け棒の下端に餌を取り付け、その上端の回転体フックに発音具に最適の鈴付き輪ゴムの一部を引張掛け留めした支点付きストップバーの一端をフックし支点付き餌取り付け棒下端の餌にネズミが触ると、回転体フックが回転して外れ鈴付き輪ゴムが支点付きストップバーの他端から勢いよく外れると共に、底無し箱体の側面にある開口部の前面下部周縁に設けられた掛け留め部からも鈴付き輪ゴムが外れて急収縮しネズミに帯着する作用をなす、更に支点付き餌取り付け棒上端の回転体フックと支点付きストップバーをタッチスイッチとソレノイドストッパーに屈折ピンを接続したものとし、電子制御で高速作動させ屈折ピンの屈折で鈴付き輪ゴムが素早く外れ、ネズミの微小なタッチに対し確実に鈴付き輪ゴムをネズミに帯着させ、場所を選ばず小電力で鋭敏作動する作用を有する。

【0006】

【実施例】本発明を図面にもとずいて説明すれば、第1図は回転体フックを用いたネズミ駆逐器の断面図、イ、1底面無し箱体で、2天井面の一部分での3支点付き餌取り付け棒の上端4回転体フックに同面端縁の5支点付きストッパーの一端を6フックを行い5支点付きストッパー他端に7鈴付き輪ゴムの一部を引張して掛け留めし、8開口部の前面下部周縁の9掛留部にも7鈴付き輪ゴムの他部を掛け留めし、3支点付き餌取り付け棒の下端E餌をRネズミが取ろうとしたときに、4回転体フックが回転して6フックが外れて5支点付きストッパーが跳ね上がり7鈴付き輪ゴムの一部が外れると共に、9掛留部からも同時に7鈴付き輪ゴムの他部も外れて収縮してRネズミに帯着される。第3図はタッチスイッチとソレノイドストッパーを用いた駆逐器の断面図、ロ、1底面無し箱体で、2天井面に設けた3のタッチスイッチと電気連動する4ソレノイドストッパーに接続された5屈折ピンに7鈴付き輪ゴムの一部を引っ掛けて、この5屈折ピンを6フック部にフックし、8開口部の前面下部周縁の9掛留部にも7鈴付き輪ゴムの他部を掛け留めし、3タッチスイッチのE餌にRネズミが触れた瞬間に電気接続された4ソレノイドストッパーが励磁されて吸引作動し5屈折ピンが6フック部から外れ屈折して7鈴付き輪ゴムの一部が外れると共に9掛留部からも同時に7鈴付き輪ゴムの他部も外れて収縮してRネズミに帯着し電源よりの電氣的作動で的確にネズミに帯着の作用がなされる。

【0007】

【発明の効果】底面無し箱体は、箱体内部がその場の床が底となり、特に警戒心大なクマネズミに対して異物反応を持たせることなく、自然な餌付けができる上に大好物の餌の臭いを発散させる多孔性で通気の良い箱体は、ネズミがスムーズに近寄り易い根本を解決している、しかも大好物の餌の臭いを遠くまで発散させる通気の良い箱体内に、強力誘引餌を自然な形で撒餌することにより確実な鈴取り付けの効率を最高にしている、構造では回転体フックを用いたフックは微作動でフックが外れて、鈴付き輪ゴムが瞬時収縮してネズミにタイミング良く取

り付く構造をなしメカ構成では高効率の器具である、更に構造を簡潔でネズミの俊敏な動きに対しの確に効果を上げる為に、電子制御とし微少な餌の動きにも反応し一連の取り付け動作を実施するのにタッチスイッチにソレノイドストッパーを電気連動させてネズミに確実に鈴の取り付けができて、しかもタッチスイッチ部とソレノイドストッパー部を一体化し、これを底面無し箱体と着脱自在として形状や材質が自由に交換された餌付け箱体が取り付けられることにより、先のネズミの臭いを完全に断って高い誘引効果をあげる、鈴の音は可聴音からネズミの嫌がる超音波音まで有し、一匹の鈴を取り付けられたネズミは言うまでもなく驚き慌てて逃げ回るがクマネズミでは一族が群をなして棲息しているので、このネズミが群に逃げ帰ると一族が驚いて逃げ出す現象をおこし、更にその場所周辺のネズミも皆驚き逃げだす高効率で低コスト、手軽で絶大な効果をもつネズミ駆逐器を提供する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のイ、回転体フック付き駆逐器の斜視図

【図2】本発明のイ、回転体フック付き駆逐器のA-A断面図

【図3】本発明のロ、タッチスイッチ付き駆逐器の斜視図

【図4】本発明のロ、タッチスイッチ付き駆逐器のA-A断面図

【符号の説明】

イ、1 底面無し箱体 2 天井面 3 支点付き餌取り付け棒

4 回転体フック 5 支点付きストッパー 6 フック 7 鈴付き輪ゴム

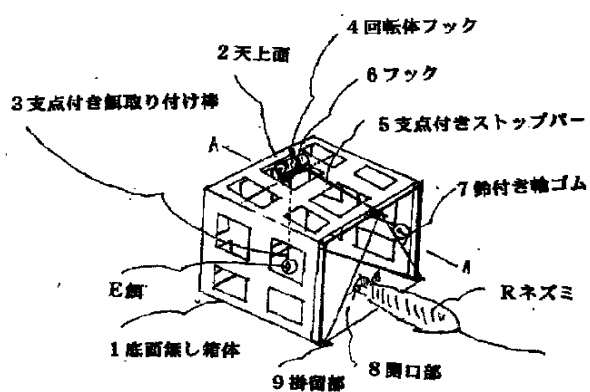
8 開口部 9 掛留部 E 餌 R ネズミ

ロ、1 底面無し箱体 2 天井面 3 タッチスイッチ

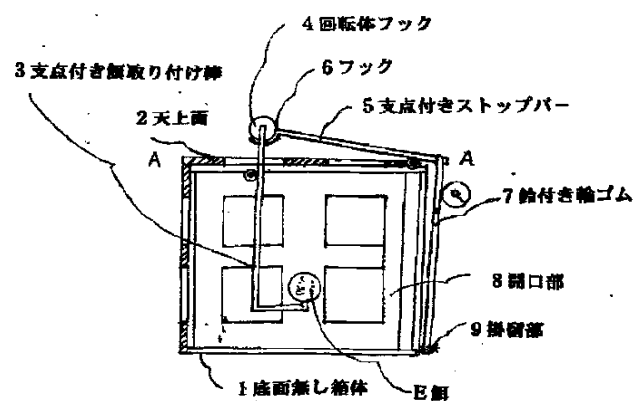
4 ソレノイドストッパー 5 屈折ピン 6 フック部 7 鈴付き輪ゴム

8 開口部 9 掛留部 E 餌 R ネズミ

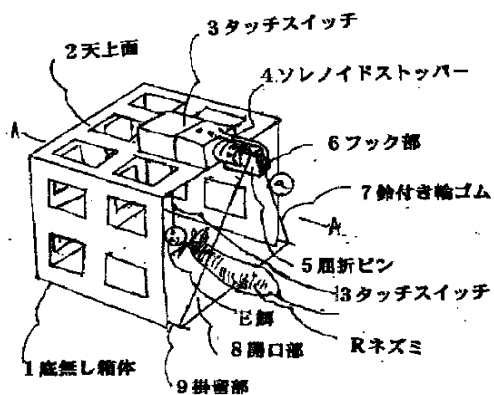
【図1】



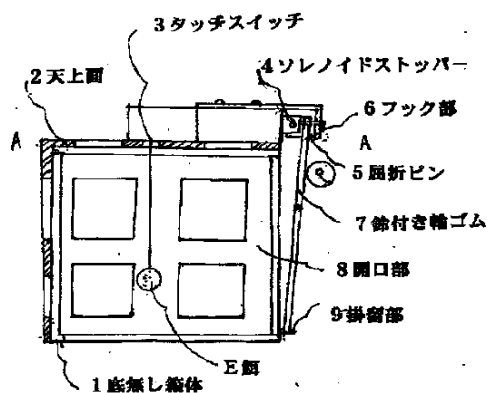
【図2】



【図3】



【図4】



PAT-NO: JP02003070408A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003070408 A
TITLE: RAT EXPELLER
PUBN-DATE: March 11, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MURAKAMI, HIDEAKI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MURAKAMI HIDEAKI	N/A

APPL-NO: JP2001316080
APPL-DATE: September 5, 2001

INT-CL (IPC): A01M023/24

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a rat expeller good in ventilation, evaporating odor of an inducing bait, hanging a rubber ring having a bell to the neck or the trunk of a scouting black rat coming to take a powerful attractive bait in an artificial feeding box of natural posture having no residual smell due to precedent rat and expel a family group together with other groups of gregariously living black rats by the one rat in the group with making a hate sound of the bell.

SOLUTION: A bottomless box 1 is put on the same floor. A combination (B) of a rotative hook and a stop bar having a fulcrum and a rubber and having a bell and a combination (C) of a touch switch 3 connected with a bent pin 5 to a solenoid stopper 4 are placed on the ceiling plane 2. In the (B), one end of the stop bar having the fulcrum is hooked to the rotative hook with a tensile force of the rubber band having the bell. In the (C) by which the hook is released by sensitive motions of the rotative hook, the touch sensor is electrically connected with the solenoid stopper and the hook of the bent pin is released by applying an electric current. The rubber band having the bell is shrunk to be tied around the rat in both cases.

COPYRIGHT: (C) 2003, JPO